# 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

令和八年九月度　入賞句一覧　投句数　六百十二句

## 一般の部

大西　誠一　選

### 特選

星飛ぶやセーラー写真セピア色　岐阜市　舩渡　惠

我が家では、高齢ながら小生は俳句に、妻は合唱にとそれぞれ忙しい。この間、久しぶりに二人で写真の整理をした。この句のように、妻のセーラー服の写真がでてきた。技術が悪い昔の写真はセピア色になる。この「セピア色」の措辞がすばらしい。

容赦せぬ人の仕業に秋出水　大垣市　水谷　義雄

日本中いたる所で洪水災害が起きている。その原因はというと、人が営利を優先した様々な開発を進めてきたこととも考えられる。百年先、五百年先を見据えた構想を持って計画を練ることが求められる。

若き日の徹夜踊りで下駄ならし　大垣市　川出　久美子

先日所用で妻と高山へ出かけた帰りに、郡上へ立ち寄った。その際、御句のように、若き日に「徹夜踊り」の輪に加わった時の話で盛り上がった。振り返れば当時小生は二十三歳、妻は二十歳。その頃の記憶をよみがえらせてくれる御句である。

### 秀逸

百日紅咲き満つ影や地蔵堂　愛知県一宮市　上島　祥子

掛軸の「心」一文字夏座敷　大垣市　傍島　隆

胡弓の音闇に消えゆく風の盆　大垣市　久保田　悟義

結びの地からの旅立ち水の秋　東京都新宿区　羽生　隣安

独り居に風の冗舌秋桜　大垣市　髙津　喜久子

一兵の供花なき墓や終戦忌　東京都江戸川区　羽住　博之

つけだれは我が家の秘宝冷素麺　三重県四日市市　後藤　允孝

軒風鈴舌替え風を新しく　兵庫県姫路市　三木　崇弘

風有ればこの世は楽し猫じやらし　京都府京都市　石田　俊雄

イグアスの写メの音聴く夏の果　大垣市　長柄　明美

## 入選

一般の部

| | | |
|---|---|---|
| ＡＩもかなわぬ情緒虫の音や | 大垣市 | 竹内　秀人 |
| 桐一葉落ちて気持ちのすっきりと | 大垣市 | 大杉　すみゑ |
| 広き田に広き空あり秋の風 | 大垣市 | 臼井　秀子 |
| ふるさとの訛りに戻る盆休み | 岐阜市 | 伊藤　をさむ |
| 鬼灯や隠し通せぬことのあり | 東京都新宿区 | 花澤　ちいこ |
| 正座する白寿の伯父の原爆忌 | 大垣市 | 酒井　和美 |
| 朝顔のつるの行方は未来形 | 大垣市 | 髙木　歌佐 |
| テレビから流れる「サライ」休暇果つ | 大垣市 | 川瀬　恭子 |
| 亡き夫の話を孫と遠花火 | 不破郡垂井町 | 竹嶋　富美子 |
| 今年また暑さ更新入道雲 | 大垣市 | 近藤　冨二子 |
| 湯上りの香届けし扇風機 | 大垣市 | 岡田　幸子 |
| 雷に誰でも棘の二つ三つ | 富山県射水市 | 河原　仁志 |
| 夜濯や星を語りし友のこと | 神奈川県川崎市 | 立野　音思 |
| 補聴器を付けるやいなや蝉時雨 | 兵庫県高砂市 | 広瀬　俊雄 |
| 背を流すごとくに父の墓洗ふ | 岐阜市 | 辻　雅宏 |

## 選者吟

更地はや繁みとなりて虫時雨　　誠一

